

2020年3月期 1Q 決算に関する主な質問

2019年8月6日
セガサミーホールディングス株式会社
財務経理本部 IR部

<2020年3月期 1Q 決算の主な質問>

遊技機事業

Q：2Q以降のラインナップについて、検定の通過状況含めて教えてほしい。

A：第2四半期は人気IP『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』のパチンコ、パチスロの発売を予定しており、想定よりも上回る受注状況となっている。適合率が低水準で推移しているパチスロについては、適合している未発表タイトルはあるものの、今後の主要タイトルの適合状況を見極める必要があると考えている。

Q：2Qに発売する『P 北斗の拳 8 霸王』の見通しは？

A：『P 北斗の拳 8 霸王』については9月上旬より稼働開始となるが、7月30日現在の受注状況は想定を下回る見込みとなっていることから、今後の稼働後も含めた追加受注の状況を見極める必要がある。
一方で、パチンコについては『P あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』が想定を上回っているほか、第1四半期における計画外のパチスロの販売もあったため、仮に『P 北斗の拳 8 霸王』の受注が想定に届かない場合でも、ある程度カバーできていると考えている。

エンタテインメントコンテンツ事業

Q：デジタルゲーム分野にて、タイトルの譲渡益が計上されているが、これを除いたときの利益水準を伺いたい。

A：デジタルゲーム分野の営業利益のうち、10億円くらいが第1四半期の実力値であると考えている。これは、前期の事業減損等によりタイトルの償却費等が軽くなっている部分と、既存タイトルのアップデートなどにより収益性が改善したことが影響している。残りは、譲渡益をはじめとした一過性利益となる。

Q：デジタルゲーム分野にて、今後の追加減損等の一過性損失が発生する可能性について伺いたい。

A：追加での減損リスクなどは今のところ特に予定していない。

Q：デジタルゲーム分野の1Q営業利益は10億円くらいが実力値であるとのことだったが、2Q以降も変わらず推移していくと考えていいのか。

A：今後は新作タイトルの投入を予定しているため、そのタイトルの進捗次第で変化し得ると考えている。

Q：AM 機器分野において、移転による家賃等の固定費が発生していると聞いたが、そのコストはどれくらいか？

A：移転による家賃等の固定費の増加額は1Qで約2億程度、通期で約8億程度を見込んでいる。

リゾート事業

Q : 『パラダイスシティ』において、5 月はゴールデンウィークの影響で日本人が多かったかと思うが、全体として、来客の国別の傾向などがあれば伺いたい。

A : 『パラダイスシティ』におけるテーブルドロップは順調に伸びており、直近の集客状況は右肩あがりが続いているとみている。国別の傾向としては、主に VIP の数字をベースにしているが、ドロップベースでは一番は日本、次が中国のお客様となっている。VIP 以外のマス層も 10 数%存在する。

Q : 『パラダイスシティ』に今後のアップサイドがあるかを伺いたい。

A : 『パラダイスシティ』開業前は、中国 VIP が多く入ることを計画していたが、中韓の問題がなかなか解決せず、それを日本のお客様がカバーしているという状況。短期間の売上はテーブルドロップの他にもホールド率によって変動するが、パラダイスシティへの中国客の訪問が回復してくれば、アップサイドもあると考えている。

以上